【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公表番号】特表2006-515060(P2006-515060A)
【公表日】平成18年5月18日(2006.5.18)
【年通号数】公開・登録公報2006-019
【出願番号】特願2004-518787(P2004-518787)
【国際特許分類】
Ｇ０４Ｂ　19/02　　(2006.01)
Ｇ０４Ｂ　 1/12　　(2006.01)
Ｇ０４Ｂ　45/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０４Ｂ　19/02　　Ｚ
Ｇ０４Ｂ　 1/12
Ｇ０４Ｂ　45/02

【手続補正書】
【提出日】平成18年5月9日(2006.5.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
腕時計（９）のケース内に組み込むための時計のムーブメントであって、少なくとも一つの円形回転する針（９１，９２，９３）の角度位置を修正するための連鎖を含み、前記連鎖が、少なくとも二つの滑車（１５０，１６０，１７０，１８０，２９，３０，２７０，２７１）の間の、運動および／またはトルクを伝達するための少なくとも一つのベルト（２０，２１，２４，２５，４２，４３，４４，４５，４７）を含むことを特徴とする時計のムーブメント。
【請求項２】
少なくとも一つの前記ベルトが一つの駆動滑車と少なくとも一つの被動滑車の間に張られ、前記駆動滑車が前記被動滑車とは異なる直径を有することを特徴とする、請求項１に記載の時計のムーブメント。
【請求項３】
一つの地板（１０）を備え、少なくとも一つの前記滑車の軸が前記地板に垂直であることを特徴とする、請求項２に記載の時計のムーブメント。
【請求項４】
機械式であり、少なくとも一つのバレル（１５，１６，１７，１８）を備え、前記バレルおよび前記針の間の連鎖において少なくとも一つのベルトが備えられていることを特徴とする、請求項１から請求項３のいずれか一つに記載の時計のムーブメント。
【請求項５】
ベルト（２０；２１）を用いて互いに連結される複数のバレル（１５，１６，１７，１８）を備えることを特徴とする、請求項４に記載の時計のムーブメント。
【請求項６】
ムーブメントの下面上に見え、二つのバレルから成る二つのバレル対（１５－１６；１７－１８）に配分された四つのバレル（１５、１６、１７、１８）を備え、
各対を構成する両バレルが一つのベルト（２０；２１）を介して互いに連結され、

さらに、二つのバレル対がトルク分配器（４０）を介して互いに連結されることを特徴とする、請求項５に記載の時計のムーブメント。
【請求項７】
少なくとも一つの前記ベルト（２０，２１）が、少なくとも部分的にムーブメントの下面上に見えることを特徴とする、請求項１に記載の時計のムーブメント。
【請求項８】
少なくとも一つの前記ベルト（４７）が、時計の文字板（９４）内の小窓（９５）を介して少なくとも部分的に見えることを特徴とする、請求項１に記載の時計のムーブメント。
【請求項９】
少なくとも一つのベルトを張るために、少なくとも一つの引張器（３１，３２，４１０，４１１）を備えており、前記引張器（３１，３２，４１０，４１１）が、対応するベルトの背面に作用する一つの偏心部分を備えていることを特徴とする、請求項１に記載の時計のムーブメント。
【請求項１０】
少なくとも一つの前記滑車（１５０，１６０，１７０，１８０）が、ボールベアリング（１５１，１６１，１７１，１８１）によって保持された、その間で旋回する軸に取り付けられていることを特徴とする、請求項１から請求項９のいずれか一つに記載の時計のムーブメント。
【請求項１１】
前記ベルト（２０，２１）の少なくとも一つが溝付きであることを特徴とする、請求項１に記載の時計のムーブメント。
【請求項１２】
前記ベルトの少なくとも一つが、時計の文字板上または時計の側面縁上で指針を運ぶために用いられることを特徴とする、請求項１に記載の時計のムーブメント。
【請求項１３】
複数の前記バレル（１５，１６，１７，１８）が、線形振動錘（１４）の移動によって張られることを特徴とする、請求項１に記載の時計のムーブメント。
【請求項１４】
前記線形振動錘（１４）がムーブメントの底部を介して見えることを特徴とする、請求項１３に記載の時計のムーブメント。
【請求項１５】
前記線形振動錘（１４）が行程の二つの端部の間を移動し、前記線形振動錘を戻すために弾性要素（１４１，１４２）が前記行程の両端部に備えられていることを特徴とする、請求項１３に記載の時計のムーブメント。
【請求項１６】
その上面が底部に平行でないことを特徴とする、請求項１に記載の時計のムーブメント。
【請求項１７】
請求項１から請求項１６のいずれか一つに記載の時計のムーブメントを備えた腕時計（９）。
【請求項１８】
ムーブメントの底部が時計の裏ぶたを直接構成することを特徴とする、請求項１７に記載の腕時計。
【請求項１９】
時計のムーブメントの組立方法が、
ムーブメントの組立過程、
調節装置（５１）の、ムーブメントの外での組立過程、および
調節装置の調節過程、ならびに
すでに調節された調節装置の、前記ムーブメント内への組み込み過程、

とから成ることを特徴とする、請求項１から請求項１６のいずれか一つに記載の時計のムーブメントの組立方法。
【請求項２０】
腕時計のケースに組み込むための時計のムーブメントであって、
第一の時間の指示のためにその角度位置が修正される少なくとも一つの回転する針、および
少なくとも一つのベルト、ならびに
前記ベルトに直接担持された、第二の時間の指示のための少なくとも一つの指示器とを含むことを特徴とする時計のムーブメント。
【請求項２１】
前記ベルトに直接担持された前記指示器が、円形でない軌道に沿って走行することを特徴とする、請求項２０に記載の時計のムーブメント。
【請求項２２】
前記第二の時間の指示が、日付、月齢、惑星の運行、もしくは潮汐周期のいずれかであることを特徴とする、請求項２０に記載の時計のムーブメント。
【請求項２３】
腕時計のケース内に組み込むための時計のムーブメントであって、
二つの滑車の間で張られる少なくとも一つのベルト、および
前記ベルトに直接担持された、時間の指示のための少なくとも一つの指示器、ならびに
前記両滑車のうちの一つを駆動するための一つの連鎖とを備え、かつ
前記連鎖が少なくとも一つの第二のベルトを備えることを特徴とする時計のムーブメント。